

令和7年2月12日（水）、次のとおり定例会議等を開催した。

1 審議・報告内容

(1) 監督上の措置事案概要

齋藤監察官室長から、監督上の措置事案概要（令和6年10月～12月末）について報告を受けた。

(2) 「110番の日」における広報啓発活動

馬場地域課長から、「110番の日」における広報啓発活動について報告を受けた。

中田委員から「緊急性のない110番通報が減ることは良いが、緊急性はなくとも、特殊詐欺やSNS型詐欺等、警察への相談が必要となるケースは非常に多い。単に、通報件数の減少を良しとするのではなく、緊急性がなくとも必要な通報を確実に拾い上げることが大切である。そのためには、#9110の役割も重要であり、これらの通報窓口を正しく利用していただき、犯罪等への対応、未然防止に努めていただきたい。」旨の発言があった。

堀田委員から「緊急性のない110番通報が大変多いが、中には、緊急性はなくとも警察への相談を必要とするものも含まれているのではないかと。緊急性のない相談には、#9110が有効であるが、こちらはまだ浸透していないのではないかと。通報者が正しく使い分けできるように、情報弱者と言われる方にも伝わるようなわかりやすい啓発活動を推進していただきたい。」旨の発言があった。

齋藤委員長から「#9110の認知度はまだ低いのではないかと。110番通報の正しい利用と併せて、#9110の周知活動もお願いしたい。」旨の発言があった。

(3) 交通死亡事故の発生状況

横田交通課長から、交通死亡事故の発生状況について報告を受けた。

齋藤委員長から「本件事故現場は、普段から良く利用する道路であり、大変恐ろしい。全ての当事者にとって不幸な事故であり、あらためて、道路を利用する際は、運転者、歩行者の双方が十分に注意しなければならないことを痛感した。」旨の発言があった。

(4) 交通死亡事故抑止対策の実施

横田交通課長から、交通死亡事故抑止対策の実施について報告を受けた。

中田委員から「大型車や歩行者への啓発を継続願いたい。啓発の際は、警察単独ではなく、他の行政機関や町内会等の団体も巻き込んで進めていただきたい。」旨の発言があった。

堀田委員から「信号機のある横断歩道を渡っていても、運転者が歩行者に気付かずに右折してくるケースが非常に多く、運転者の確認意識の更なる向上が必要である。ハンドサインでストップ運動については、歩行者・運転者の双方が、その趣旨を正しく理解していただけるよう工夫し、周知していただきたい。」旨の発言があった。

(5) 技能伝承官による治安機関合同運転訓練の実施結果

横田交通課長から、技能伝承官による治安機関合同運転訓練の実施結果について報告を受けた。

(6) スノーモービル走行訓練の実施

忠石警備課長から、スノーモービル走行訓練の実施について報告を受けた。

2 決裁・報告内容

(1) 令和6年被疑者取調べ監督の実施状況について報告を受けた。

(2) 教育委員会・公安委員会による意見交換会に先立ち、警察の「いじめに関する取組状況」について報告を受けた。